

**製品名:  $\alpha$  チューブリンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85279**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.49mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 50 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	alpha Tubulin
別名	ALS22; TUBA1; H2-ALPHA
遺伝子 ID	7277.0
SwissProt ID	P68366
免疫原	ヒト $\alpha$ チューブリンの合成ペプチド

**背景**

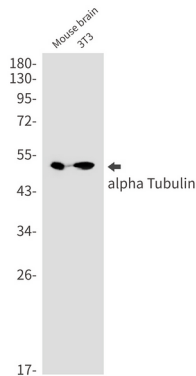
TUBA1A チューブリンは微小管の主成分です。チューブリンは 2 モルの GTP を結合します。1 つは  $\beta$  鎖の交換可能部位、もう 1 つは

α鎖の非交換可能部位です。

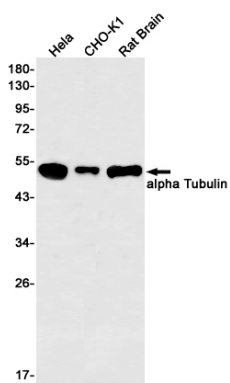
## 研究分野

-

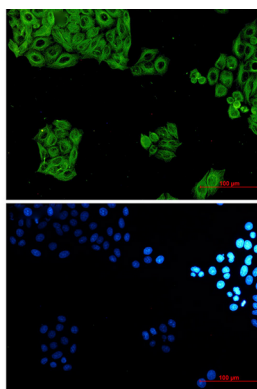
## 画像データ



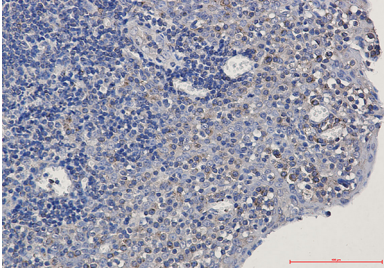
αチューブリン抗体を使用したマウス脳 3T3 溶解物中のαチューブリンのウェスタンブロット分析。



アルファチューブリン抗体を使用した、HeLa、CHO-K1、ラット脳溶解物中のアルファチューブリンのウェスタンブロット分析。



αチューブリン抗体と DAPI (青) を使用した、HeLA のαチューブリン (緑) の免疫細胞化学分析。



α チューブリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。